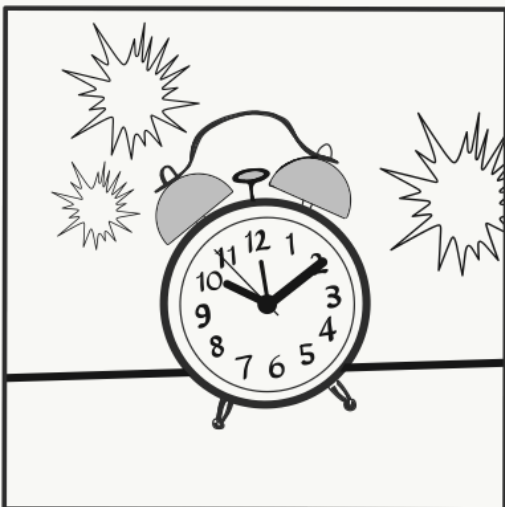


関西大学生連合2020文集

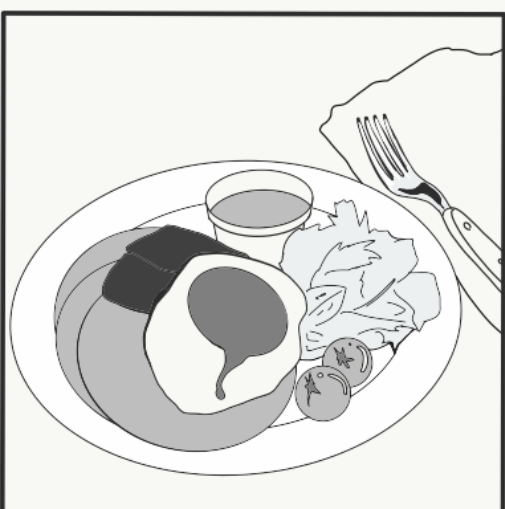
関大連って何でできてる？

～これまでの軌跡とこれからの旅路～

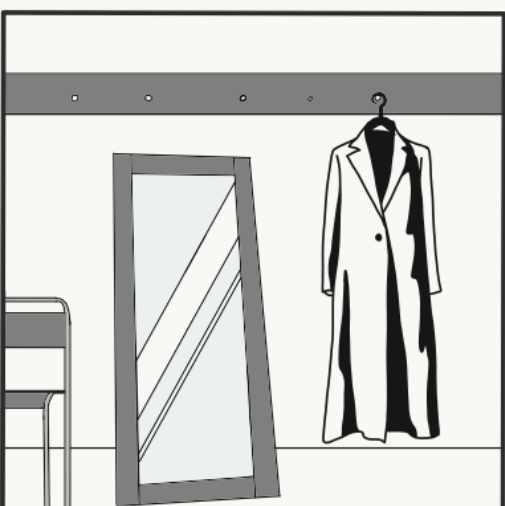
朝起きて…



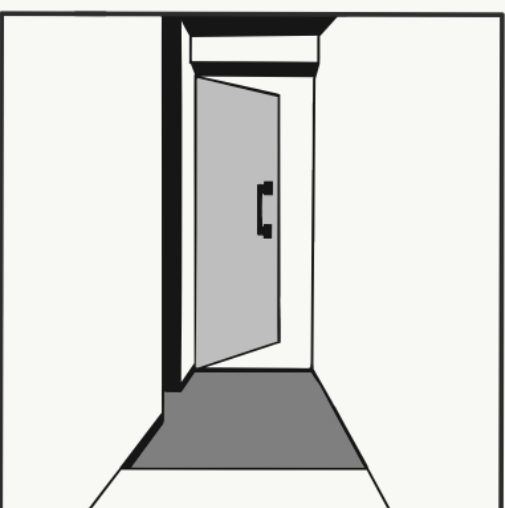
今日は
第一月曜日…！



Are you ready?



そうだ、
関大連に行こう



関大連に行く。そんな物語を語る時間は

午後6時発の電車に乗るところからスタートだ。

様々なアイデンティティと遭遇する、

そんな2時間を予感させるー。

Journey
Are you
ready? 1.
2. Subway
to go
Cafe
3. BOOK 4.
Subway STORE
on the way back
5.
6. POST

18:00

2006

2007

2008

2013

関大連創立

わかもひ @ 関西

中高大生合宿

わかもひ @ 関西

→  **LR 関西線**
LR Kansai Line
LR 关西线 LR 간사이선

←  北摂京滋地区/福井地区
Hokuryou Keiji Area / Fukui Area

←  奈良大阪地区
Nara Osaka Area

←  兵庫地区
Hyogo Area

←  阪和地区
Hanwa Area

2017

2019

2021



わかもひ @ 関西

大大大開始

⚠️ コロナ発生

現在

名前 (あだ名)	学年	地区	パーティ
八木尾彩音 (やぎ)	4年生	兵庫	真田郁恵パーティ
河手寛樹 (えすか)	3年生	兵庫	小柴明子パーティ
谷和俊樹 (とし)	1年生	阪和	森瑞穂パーティ
杉山実紀 (みのり)	1年生	奈良大阪	大橋あや子パーティ
小澤琴弓 (こっぴー)	2年生	奈良大阪	川島祐子パーティ
杉山美晴 (みーはー)	4年生	奈良大阪	大橋あや子パーティ
竹内みつぎ (みーちゃん)	4年生	奈良大阪	船田奈緒美パーティ
大野智美 (のっち、ともみ)	4年生	奈良大阪	瀧井仁美パーティ
萩原のぞみ (のん)	2年生	奈良大阪	瀧井仁美パーティ
三木真慧 (まさとん)	1年生	北陵京滋	上岡裕子パーティ
田上純也 (がーみん)	2年生	北陵京滋	長谷部倫巳子パーティ
星野優香 (ゆうか)	4年生	北陵京滋	上岡裕子パーティ
藤田詩乃 (しのちゃ)	1年生	奈良大阪	知名扶士子パーティ
海沼ウララ (うら)	1年生	北陵京滋	上岡裕子パーティ
赤塚光博 (みつ)	4年生	兵庫	福田智美パーティ
有田紗彩 (みかん)	1年生	阪和	長藤味紀パーティ
内藤一絵 (ひとえ)	4年生	兵庫	高島良子パーティ
本常瑞己 (みず)	3年生	北陵京滋	上岡裕子パーティ
上田桜 (さくら)	4年生	北陵京滋	上岡裕子パーティ
山下実莉 (キャロル)	4年生	阪和	山下美雪パーティ
阪本実優 (みゆ)	3年生	奈良大阪	岡本美保子パーティ
森本真由 (まゆまる)	4年生	奈良大阪	田中三保子パーティ
前田美伽 (ふうか)	1年生	阪和	水越弘美パーティ
田嶋彩恵 (アンディ)	4年生	北陵京滋	篠原孝子パーティ
古田由緒 (ゆい)	2年生	奈良大阪	大橋あや子パーティ
岡本月乃 (つきの)	3年生	奈良大阪	岡本美保子パーティ
市古季穂 (きーちゃん)	2年生	北陵京滋	上岡裕子パーティ
浜口わかな (わか)	1年生	阪和	鈴木香奈子パーティ
南部俊輔 (ある)	1年生	奈良大阪	袴田由紀子パーティ
小原千佳 (ちか)	1年生	北陵京滋	稲田とし子パーティ
西川龍 (にしっぴ)	3年生	奈良大阪	西川久美パーティ
大橋祐希 (べる)	2年生	阪和	山下美雪パーティ
坂本夏輝 (なつき)	3年生	奈良大阪	坂本章代パーティ
藤川大輔 (だいふく)	3年生	兵庫	藤川由江パーティ
二本慧 (こげぱん)	3年生	北陵京滋	上岡裕子パーティ
眞本千愛理 (ちえりー)	3年生	北陵京滋	長谷部倫巳子パーティ
田井智之 (ちび2ー)	2年生	奈良大阪	知名扶士子パーティ
下川音々 (ねね)	2年生	兵庫	真田郁恵パーティ
大塚恭平 (きょうへい)	1年生	北陵京滋	上岡裕子パーティ
土橋桜 (さく)	1年生	奈良大阪	田中美保子パーティ
北野新太 (しんた)	1年生	北陵京滋	上岡裕子パーティ
山本幸奈 (ゆきな)	2年生	北陵京滋	上岡裕子パーティ
谷口くるみ (くる)	4年生	北陵京滋	篠田亜矢パーティ
川端奈緒 (なお)	2年生	北陵京滋	稲田とし子パーティ
奥田颯馬 (ネイチャー)	1年生	阪和	山下美雪パーティ
山田明日香 (あすか)	3年生	阪和	森瑞穂パーティ
中澤希心 (のんのん)	1年生	奈良大阪	知名扶士子パーティ
大倉望加 (なむちゃん)	1年生	北陵京滋	栗田和代パーティ
山下幹人 (えらゴン)	1年生	阪和	山下美雪パーティ
加藤奈々子 (りょく)	3年生	北陵京滋	塩田基子パーティ

大学の学部学科

国際学部
教育学部
生物理工学 部生物工学科
健康科学部 理学療法学科
国際・英語学部 国際・英語学科
国際学部 国際文化学科
文学部 言語文化学科 英米文学専攻
文学部 英文学科
教育学部 教育学専修
政策学部
教育学部 教育学科 英語教育専攻
神学部 神学科
テーマパークスタッフ科
教育学部 教育科学科
基礎工学部 電子物理科学科 エレクトロニクスコース
観光学部
発達教育学部 児童教育学科 保育学コース
文化学部 国際文化 (アメリカ文学)
経営学部 経営情報学科
工学部 機械工学科
発達教育学部 教育学科 心理学専攻
国際・英語学部 国際・英語学科
総合経営学部 経営学科
人間科学部 教育工学研究室
看護学部
経営学部 国際経営学科
教育学部 理科領域専攻
文学部 英文学科
経営情報学科
外国語学部
英語国際学部
人間科学部 キャリア英語学科
グローバル地域文化学部
ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科
経済学部 国際経済学科 国際関係コース
人間科学部 総合子ども学科
工学部 交通機械工学科
人間福祉学部 社会福祉学科
工学部 工業化学科
なし
文化学部 京都文化学科
工学部 応用自然科学科 応用化学専攻
教育学部 教育学科 初等幼児教育専攻
社会学部 メディア学科
社会情報学部 社会情報科学科
環境都市工学部 エネルギー・環境工学科
外国語学部
地域保健学域 総合リハビリテーション学類 作業療法学専攻
法学部 国際公共政策学科
文学部 社会学専修

勉強内容

社会、宗教、文化的側面から見たジェンダー・マイノリティ研究

小学校教育について

植物と微生物の遺伝子や細胞の分子構造などについて勉強している。

理学療法士を目指して。

英語勉強してたまに英語喋ってたまに国際について勉強してます。

イスラーム世界を中心とした比較宗教学

イギリス文学。卒論はナルニア国物語について書きました！

英文学の研究、英語でのミュージカル上演

教育の勉強、小学校免許取得のための勉強、教育史や教育経営学、教育社会学、教育課程カリキュラム、生涯政策の決定から実施の流れに関わる体系的な学問を幅広く勉強しています。

小中高特別支援における教育と教育方法、それらの歴史や制度等。中高では外国語科の英語を扱っている。

宗教カウンセリング、精神分析学、映像・文学作品のキリスト教的要素の考察

テーマパークスタッフになるために、お客様との関わり方や、語学、手話やダンスなどを学んでいます。

脳の仕組みや認知機能、特に視覚認知(視覚短期記憶)について研究したいです。

固体物理、量子力学、通信、半導体工学、回路理論

観光について

幼児教育に関するものほとんど。心理学、発達学、社会福祉、憲法も学ぶし実技もあります。

幅広く欧州文学を学びながら、アメリカの南部文学に触れている。現在はモダンなカーヴァー文学を卒業の間に市場調査などのマーケティング分野とプログラミングなどのIT分野について。

機械、特にその材料である金属の特性の研究をしています！

臨床心理、教育心理などいろんな心理

国際関係(国際教育等)

企業経営についてや、簿記、会計かと。

教育方法、教育とテクノロジーの関係について

看護師の資格を得るための医療知識

起業家とアントレプレナーシップ論

教員免許(小・中・高)を取るための勉強と物化生地の基礎実験と内容について勉強してます。

英文学を読んでその時代の背景や文化を学んだり、世界の社会問題を勉強しています。

通常の経営学に加えて、IOTや情報を活かした経営活動を学んでいます。

英語、中国語、留学に向けて必要なスキル

英語と中国語

ビジネス英語

ドイツで生活するシリア難民の子どもたちが、現地教育との関わりの中で、どの様に自分のアイデンティティロボットに関する数学・物理

今は日台関係について歴史的視点や実際の声を元に研究してます。

子どもの発達や教育についての勉強、幼稚園教諭、小学校教諭の資格を取るための勉強をしています。

車とか電車とか、機械系中心

福祉がメインだが、社会福祉学というところで社会に存在する問題を福祉的な観点で勉強していきます。

化学の反応や物質の性質について勉強する予定です。

なし

京都文化を深く理解することを目標に宗教文化、日本庭園に関する知識、伝統産業など

化学を学んで、それを実用化する。

幼児教育、初等教育、特別支援教育

メディアに関する知識や社会問題などの学習や、メディア制作など

統計学・データサイエンス・ビッグデータなど

環境に優しいエネルギーの開発や利用法、環境を汚染する物質を出さない技術などを工学的な立場から学んで

専攻語の読む、書く、話す、聞くの4技能を伸ばすための勉強をしています。また、英語で色んなことを学んで障害者の方が自立した生活を送れるようになるためのリハビリ(作業療法)について

経済、法律、国際関係論を勉強していて、国際政治・経済の動向に関心があります。

社会に関することならなんでもありの学科！その中でも公共政策や持続可能な社会づくりに興味あります。

KANSAI DAIGAKUSEI RENGU

Member

谷和俊樹(とし)	基本に忠実に	部活でスランプになったとき。辛かった・・・
杉山実紀(みのり)	自分がされて嫌なことは人にはするな	国語の偏差値がどう頑張っても平均取れませんでした。
三木真慧(まさとん)	終わらせる勇気があるなら続きを選ぶ	最後の大会で満足に走れなかったのはいままでの人生最大の挫折でした。
藤田詩乃(しのちゃ)	!かわいいは無限大!	地区発表会で、ナレーションが飛んでしまったこと。
海沼ウラウ(うら)	気ままに	小学校の卒業式でのピアノ伴奏に選ばれなかったこと!
有田紗彩(みかん)	いつも笑顔で	ありすぎて書き切れやんけど、一年目大学受験落ちたこと
前田芙伽(ふうか)	したい時にしたいことを	まだ20年も生きていないので、そんな挫折には出会っていないです...これからかなあフウ
浜口わかな(わか)	他のために行動する	基本できる限りのことはする気持ちなので、途中で放り投げることはないです。
南部俊輔(ある)	足を止めては行けない。1歩ずつでもいいから歩き続けろ。	大学受験。
小原千佳(ちか)	健康第一	大学の課題が溜まりまくってやる気が無く
大塚恭平(きょうへい)	笑顔で楽しく過ごす!	大学入試で不合格だったこと
土橋桜(さく)	井の中の蛙大海を知らず、されど空の蒼さを知る	病んで引きこもった!
北野新太(しんた)	(特に無いです)	中学受験と大学受験です。それにより得られた結果に不満は抱いていません。
奥田颯馬(ネイチャー)	住めば都	無いです
中澤希心(のんのん)	一期一会	初めてのシニアメイトで、中々思うようにいかなかった。
大倉望加(なむちゃん)	人は人、自分は自分	高校の時キャバオーバーで体を壊したこと。今となっては自分のキャバを知れた良い思い出!
山下幹人(えらゴン)	成功することよりも後悔しないことを目指しなさい。	自信のあった第一志望の大学の推薦入試で不合格だったこと。
小澤琴弓(こっぴー)	為せば成る	自信のあった第一志望の大学の推薦入試で不合格
萩原のぞみ(のん)	「自分に打ち勝つことが最も偉大な勝利だ」「本気ですとおもしろい、本気です」と大抵のことができる、本気でしていれば誰かが助けてくれる」	受験で志望校を諦めたこと、公募推薦ことごとく落ちたこと、吹奏楽コンクールのオーディションで理不尽に落とされたこと
田上純也(がーみん)	おかわり	自分の中で「何をもって挫折なのか」が定まっていないので現状挫折したことないと思ってる。
古田由維(ゆい)	やればできる	特になし
市古季穂(きーちゃん)	なんでも、なんとかなる	先生が好きじゃなさすぎて、受験期に化学の成績が全く上がらへなかったこと
大橋祐希(べる)	常に笑顔	大学受験
田井智之(ちび2ー)	とくになし	受験失敗したとき
下川音々	ポジティブ	特になし!
山本幸奈(ゆきな)	継続は力なり	頑張っても部活で全然結果が出なかった。
川端奈緒(なお)	千里の道も一歩から	まだ、大きな挫折経験はありません、。。
河手寛樹(えすか)	人生は死ぬまでの暇つぶし(^^)	ない。人生逃げてばかりです。ごめんなさい。

カフェは憩いの場。ここには様々な物語がある。



KANSAI DAIGAKUSEI RENGU

Member

本常瑞己(みず)	誰にでもできて 誰もがやりたがらないことを 誰よりも積極的に。	小6で素語りができず、ラボをやめると宣言したとき。
阪本実優(みゆ)	良い花は後から	高校生の時の部活動。
岡本月乃(つきの)	迷ったらやる!	中学受験で第一志望に落ちたこと。でも、それで行く ことになった学校が、今となっては大好きな学校
西川龍(にしゅび)	急がば回れ	アメリカ留学時代に、初めの3ヶ月ほど、先生の言ってることがほと んどわからず課題も全然思うようにできなかったこと。
坂本夏輝(なつき)	正解を求めない。自分の行動で正解にする。	3歳から15年間続けたレスリングで、ずっと同じ相手に勝てなかったこ と。その相手に勝つことを諦めて、レスリングを辞めてしまったこと。
藤川大輔(だいふく)	「きっとなんとかなる」	センター試験、、、思い出したくない、、、
二木慧(こげぱん)	やらない後悔よりやる後悔	
萬本千愛理(ちえりー)	継続は力なり	もうソフトをやめたいと挫折しそうになりました。しかし、毎日朝練を 自主的にして、ある日から他のチームの監督からも認められるピッ チャーになることができました!
山田明日香(あすか)	これとってないけど、後悔しないように生きてます!	すぐ思いつくのがない!小さい挫折をたくさんしてます!
加藤奈々子(りよく)	人事を尽くして天命を待つ	寝たら忘れるポジティブ楽観人間なので
八木尾彩音(やぎ)	今を生きる	うまく日本社会に適合できなかった時。笑
杉山美晴(みーはー)	やらなくて後悔するよりやって後悔しろ、 失敗は成功のもと	小学生のとき、算数のくりあがりの足し算で挫折しました。
竹内みつき(みーちゃん)	①報恩感謝②困難は成長のチャンス③だいたい のことはなんとかなる!	たくさん!毎日が反省と成長の繰り返し!
大野智美(のっち、とも)	遅すぎることはなんてない、明日は明日の風が吹く、上手く行 かないことは良い人生の調味料	大山のシニアの準備、イギリス留学中にバスから下ろされ たこととか、
星野優香(ゆうか)	昨日の自分より今日の自分に自信を 持てるように生きる	人との関わり方にはずっと挫折してます。
赤塚光博(みつ)	初志貫徹	高校サッカー最後の大会初戦で負けたこと
内藤一絵(ひとえ)	死ぬこと以外かすり傷	数学が嫌いすぎてどれだけ勉強しても数字が上がら
上田桜(さくら)	迷ったら挑戦する	カレッジでリーダーにもなったがリハがてら全然うまくいかなかったとき。 周りにうまく頼れず、メンバーとの連携がうまく取れていなかった。
山下実莉(キャロル)	愛されるより愛することを、理解されるより理 解することを	個性が認められない場所での人間関係
森本真由(まゆまる)	今を楽しむ	高校生のとき興味本位で入ったダンス部。私のみ初心者。必死で 練習したけど、結果として現れなかった時は心が折れたなあー。
田嶋彩恵(アンディ)	やらない後悔よりやって後悔	本当にやり切ったって思った上で心を折られたりしてこそ、本物 の挫折だと思うから。挫折することに挫折し続けているかも。
谷口くるみ(くる)	ポジティブシンキングイズベスト	高校の部活の全国コンクールで、どれだけ頑張っても優良賞止ま りだったこと!

カフェを出て、
まず目に入ったのは・・・



本屋があると何故か
入ってしまうことは
ないだろうか？

思わぬアイデアや価値観との出会いはいつだってそういうものだ。

それを手に取り、
ページをめくる....

関西大学生特集！

関西大学生特集！

関西大学生連合
毎月第一月曜
18:00~20:00
関西ラボセンター

今だからこそ読もう！
「大学生の大学生による大学生のための時間」の
登壇者インタビュー！

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

関大連

アイデアについて語るときに
我々の語ること
作者：関西の大学生ラボっ子

「大学生の大学生による大学生のための時間」通称「大大大」は2019年11月に始まった。それ以降、2020年関大連活動指針「アイデンティティと出会う場所」と共に、各大学生が学んでいること、興味を持っていること、みんなに伝えたいことなどを自由に共有する目玉企画となり、関大連では毎回、希望者が登壇し、プレゼンやワークショップを行った。

関西大学生特集

教 育といえ、 がーみん



写真：北陵京滋地区 長谷部P

大2 田上純也

2回の「大大大」に渡って教育について語ってくれたがーみん。1回目は前年度、教職の視点から教育の意味を問い直した。2回目は初等英語に絞り、ラボっ子ならではの視点も織り交ぜ、全体を巻き込んだの白熱した議論を展開した。インタビュー当日、リラックスしながらも、深い眼差しが伝える不動のアイデンティティ。短すぎた1時間の全容をここに記して貰った。(Interviewer 本常瑞田)

日本の教育って教師しか喋らない。先生が質問を投げたら誰かが答える、もしくは答えない。でも、カナダではわからなかったら誰かがすぐに聞いてた。それに対して周りの生徒も嫌がない。俺からしたら「そんななんわかるやん」と思う質問も、ちゃんと取り上げていた。衝撃的だった。でも、そういう教室がいいと思う。その場で聞けて、それがクラス全体のプラスになる。小学校からそういう環境で育たないと、そういう生徒って生まれない。

みず) 教育、教職への興味を持つきっかけは何だったの？

がーみん) 小学校で、感想文を書くじゃん？第二次世界大戦の映画を見た時があった。もともと『はだしのゲン』が好きでめっちゃ(第二次世界大戦について)知ってた。だから、単に感想だけを書いたら、「もつと書け！」って先生に言われて。自分ならこんなこと言わないって思った。そこで、教育者になるなら、どの学年かなって考えて…。教育ってすごいなと思うのは、幼い頃にされている教育であればあ

るほど、その人の価値観になっていく。小学校って、初めて義務に基づいて、集団生活を送る場。数千人の子供たちの人生の価値観に影響を与える仕事だと思った。だから小学校教員ってなって。教育にフォーカスするなら、ラボと学校の教育の違い。英語は喋れて聞けたら俺はいいと思う。学校の英語教育に違和感を感じた。決定的だったのは、ラボで留学に行ったこと。自分が目指した教育の形がそこにはあった。俺の目指す教育像、教室像が間違っていないと思った。

じゃあ、こつ目の質問。興味を持ったことで生活面で変わったことはある？

教育学部って心理学を学ぶんよ。児童心理とか。低学年の子と関わる時に考えるようになった。あと、特別支援の実習もやった障がいを持つ子に対する印象が変わった。

それって具体的には？

自分の小学校に知的障がいを持っていた「ズちゃん」って子がいた。みんな慣れていたし、仲は良かった。ある時、そのズちゃんがいないはずの場所にいて、俺と友達(と)が

出くわした。♪が「どうしたん、メちゃん」って声をかけた。すると、メちゃんが「♪君（その友達）が僕をいじめる！」って叫び出した。そこまでは見慣れた光景だった。だけど、その時対応した教員がまずくて、状況確認せず、その言葉を鵜呑みにした。その時に、知的障がいを持つて人って何をしていいんだなって思ってしまった。その事件は周りにも見ていた人が多かったからことなきを得たけど。その一件以来、苦手意識があった。

真実がねじ曲げられる恐怖心があったと…。

そう。でも留学行ったときにだいたいマシンにはなった。障がいを持つてた子に助けてもらったりもした。大学でも勉強して、結論は、周りの大人が大事なんじゃないかって。冷静な目で、ちゃんと関われる大人にならないとなつて思った。

三つ目の質問。みんなに伝えたかったメッセージってなんだった？

大学で教育をたくさん学んだわけだけど、もつとみんな知るべきだな、教育って。与えられているから、受け取る側は何も知らなくていい。でも伝える側はすごい情報を精査している。学習指導要領ってPDFで公開されてるし。今、学校って地域と関わ

りを持つてどう言う意図のもと、どんな児童を育てたいかってことをオープンにしている。でも、みんなほとんど知らない。例えば何故「きはじ」で距離、速さ、時間の計算をするのか、とか。教育って日本を作る、今後の世界を作るなって思った。学校でやっていることだけが教育じゃない。加えて、学校の教育にもみんな関われる。

みんな教育していく姿勢が大事だと？

そのスタートラインにみんな立ちませんか？って意味。初頭英語の話をするなら、僕らって小学校の英語必修化の時ちようど生きていた年代。そして大学生になるタイミングで小学校英語が教科化される。自分たちが受けてきた小学校での英語教育を元に教科化されると言うこと。自分たちの子供に直接関わる問題になるはずだからね。だから、あの時はみんなが意見を交わすって言う時間を作った。

少し話題を変えて。「教室像」って言葉が少し前に出てきたけど、どういう意味だった？

日本の教育って教師しか喋らない。先生が質問を投げたら誰かが答える、もしくは答えない。でも、カナダではわからなかったら誰かがすぐに聞いてた。それに対して周りの生徒も嫌がらない。俺からしたら「そ

んなんわかるやん」と思う質問も、ちゃんと取り上げていた。衝撃的だった。でも、そういう教室がいいと思う。その場で聞けて、それがクラス全体のプラスになる。小学校からそういう環境で育たないと、そういう生徒って生まれない。

小学校での英語の教科化はどう思っている？

それ自体はいいと思う。だけど、やるなら根本的に変えないといけないことがある。試験制度とか。教育のやり方を変えても、試験が変わらないなら意味がない。

聞き方を変えて。ラボをやってきた身として英語教育ってどう思う？

すごいなと思うのは、現代英語教育の理想形について勉強して、本も二冊くらい読んだ。そこで出てくるのってほとんどラボ。楽しませて、リスニングさせる。その後は、絵本を使って状況理解できるように。そして、絵本に書いてある文字とリンクさせる。

しかもそれが語学教育ではない。人格育成だと。

そうなのよ。この前、永田さんから（ラボ創設についての）話を聞いて「当時画期的だった」と。でも、今でも画期的！

「ジェンダー」について

過去二回に及ぶ、「大大大」に登壇したやぎ。一度目は「ジェンダー」について、そして二度目は「Black Lives Matter」について。過去二回の大大大の中で、やぎが扱った「マイノリティ」という存在。今回は、やぎが自身の研究の中で扱った「ジェンダー」に主に焦点を当て、インタビューを行った。このインタビューに関する内容は「自分に関わる問題」ということを深く認識した上で、読者にはこの記事を読んでもらいたい。(Interviewer 坂本夏輝)

バイセクシャルのクラスメイトとの出会いをきっかけに、ジェンダー問題に関心をもった。また、自分を取り巻く日常の中にジェンダーを始めとするマイノリティ問題が満ち溢れていることに気づいた。それは被差別者だけの問題ではない、社会を生きる全ての人がその問題の当事者なんだ。私は、そういったマイノリティを含む全ての人の味方でありたいと考えている。

なつき) なぜ、ジェンダー問題に興味を持った?

やぎ) 高校生の頃、初めてのクラスで出席番号が自分の前だった子がバイセクシャルだった。当時、セクシャルマイノリティに出会ったことはなかったが、入学して数週間経った時、その子が私に「私、バイセクシャルやねん」と告白した。当時は、セクシャルマイノリティについて詳しくなかったが、そういった人たちがいることは知っていた。自分の反応も「そうなんだ!」といった感じで、バイセクシャルをその子の個性として捉え、特別な感情は持たなかった。その後、その子がバイセクシャルであることを理由に苦労している様子を見てきた中で、アメリカで同性婚が

認められた

というニュースを目にした。これをきっかけに、英語スピーチコンテストで「LGBTQ+」に関してスピーチをすることを決意した。それが、一番初めに興味をもったきっかけだった。

そのクラスメイトとの出会いが、やぎがジェンダーに関して研究するきっかけになったということ?

うん、やっぱりその子との出会いは一つのことだった。それから、自分が普段から色んなことに興味をもつ性格だということもあると思う。どうして日本の文化の中では、みんなが同じでないといけないのか、といった疑問をよく持っていた。また、自分が「女

性」だということもあると思う。仮に自分が

「男性」だったら、ジェンダーに関してそこまで問題意識を持たなかったかもしれない。

学問として「ジェンダー」を研究することで日常生活の中で変化したことはある?

「言葉遣い」、「振舞い」に対してとても敏感になった。「言葉」は場合によって武器になる。例えば、「男らしい」、「女らしい」という言葉を受けて傷つく人だっている。メディアの中でも、日常会話の中でも、パーソナルで繊細なことに関するトピックは満ち溢れている。そういった、トピックに対してとても繊細に反応するようになった。その言葉



写真：兵庫地区 真田P 大4 八木尾彩音(やぎ)

で傷つく人がいることを知っているから、そこにとっても苛立ちを感じることがある。

「大大大」を通してみんなに伝えたかったことは何？

ジェンダーに関する問題は、研究者やセクシャルマイノリティだけが当事者ではないということ。この社会で生きる人「全て」が問題の当事者であるということを認識してほしい。その上で、セクシャルマイノリティをカテゴリーとして分類するのではなく、その人の「個性」として受け入れる姿勢をみんなには持つてほしいと思った。

そもそも「差別」は撲滅することは可能なのか？

まあ、まあ、無理でしょうね。人類の歴史の中で差別は常に存在してきた。新たなカテゴリーが生まれると、そこに対して差別的な眼差しが向けられてきた。そういった意味で、「差別」を完全に撲滅することは難しいと思う。そうだとしても、自分が生きやすいと感じる社会を創りたいと思う。完全に撲滅は出来なくても、少しずつ状況を良くすることは出来るし、現に社会の中でも改善しつつある差別も存在している。

やぎはフェミニスト（女性解放思想家）なの？

私の信念としては「全ての人がその人らしく自由に生きることが出来たらいい」と思っている。だから、フェミニストであり、LGBTQ+の味方であり、男性の味方でもある。そういった意味で、フェミニストというのは自分の一部の側面に過ぎない。私はマイノリティを含め全ての人の味方でありたいと思っている。

グローバル化によってマイノリティといっても様々な形態が存在し、問題が複雑化する中、そういった問題を考える際に一番大切なことって何？

やっぱりその人の根幹にあるアイデンティティを尊重することだと思う。自分を押し付

けないことが大切。受け入れることは出来なくても、押し付けないことは出来ると思う。

大学での研究を経て、今後、社会でどのようにジェンダーやマイノリティに関する問題意識をどのように持ち続けるのか？

ジェンダーやマイノリティに関する問題は今の世に溢れているから、現に研究を終えた今でも、日常の中でジェンダーやマイノリティについて頻繁に考えるし、考えたことをアウトプットしている。マイノリティ研究は、研究が終わったから関心が薄れるというものではない。今の社会を生きる人間としてこの問題については今後もずっと意識を向け続けることになると思う。

【インタビューから一言】

現代の社会を生きる我々からは切っても切り離せない、マイノリティ問題。やぎの「大大大」を受け、どの様にその事実を捉え、どの様に自分の中に落とし込むのか。それは、この大大大に参加した我々全員が担うべき責任であると強く感じた。

やぎ、ご協力ありがとうございました。

因数分解 して 考える

就職活動における経験の中で知った「因数分解」という思考プロセス。物事を「縦」と「横」の二軸で捉えることで、それぞれを構成する要素を分析することで問題のボトルネックが浮き彫りとなり解決へのアプローチを導き出すことが出来る。2020年9月関大連でみつが取り上げたこの思考プロセスの本質に迫る。(interviewer 坂本夏輝)

様々な問題を因数分解して考えること。そうすることで自分の思考のバラエティーを強化することが出来る。しかし、そのような思考プロセスを持つ意義はそれだけではない。「自分にとっての当たり前を因数分解することで、新たな気づきや考えが生まれ、それは自分の先入観をも払拭し得る。

なつき)どこで「因数分解して考える」という思考プロセスを知って、なぜそれに興味を持った？

みつ)就職活動を通して、そのような思考プロセスがあることを知って興味を持つようになった。自分が興味のあった業界の選考の中で求められるスキルだった。全ての業界の選考で必要なものではないけど、コンサルティング業界や一部の商社などの選考の中で「因数分解して考える」という思考を求められることがある。

あった。その対策として勉強していく中で興味を持つようになった。

具体的にどのような形で求められるの？
主に面接のとき。面接でいきなり面接官の人に「このような問題を解決するにはどのような方法がありますか？」といった形で問いを投げかけられ、それに対して自分の答えを導き出さないといけない。

それってどの様な対策をするの？

しっかりと思考プロセスにのっとって分析することも大切だけど、色んな問題に

ついて考えることが一番大切。様々な問題に触れることで、自分自身の思考のバラエティーを増やすことが出来る。

そういった思考プロセスを体得して、生活に変化はあった？

問題を認識した時に「因数分解して考える」ことを意識的に行うようになった。例えば、バイトや、学校の研究といった場において。また、思考プロセスを意識的に使うだけではなく、「自ら問題意識をもって、解決へのアプローチをする」ということを積極的に行うようになった。そ

のように、問題意識を持つことや、解決へのアプローチを探るといったことは社会人として必要な力であり、それを身につけるために自分は日々の生活を意識的に過ごしている。



写真：兵庫地区 福田P 大4 赤塚光博(みつ)

なぜ「大大大」で登壇しようと思ったの？

去年（2019年度）の冬にこの思考プロセスを知った時点で、いつか関大連で楽しみながらこのことについて扱うことが出来たらいいなと考えていた。そこで、9月の関大連で何してもらえないかとみずから持ち掛けられ、大大大で扱うことを決意した。

「大大大」でのプレゼンを通してみんなに何を伝えたかった？

シンプルに自分が面白いと思ったことを関大連のみんなにも共有したいと思った。様々な問題に触れることで思考のバリエーションを増やすことが出来るということとを伝えたかった。

ラボ活動の中でその思考プロセスを活かすことが出来る場はある？

特に大学生活動では、活かすことの出来る場があると思う。例えば、関大連において「どうしたらもっと参加者が増えるか」といった問題について考えることもできると思う。今年一年参加者が少なかったことに対して、その要因を因数分解してみると「オンライン化」が一つのボトルネックとして挙げられる。それを踏まえて、「オンライン化」をどう克服するかについて考えることで問題解決のアプローチになるかもしれない。また、

「オンライン化」の問題について考えることは、今後のオンライン社会（オンライン化Afterコロナ）でどう活躍することが出来るかという問いにも関わってくると思う。

最後に、みつにとって「因数分解して考える」ことの意義とは？

自分にとっての当たり前を因数分解して考えることが大切だと思う。そうすることで、自分のなかで新たな気づきや、新たな考え方が生まれ、自分が持つている先入観を払拭することが出来る。また、それを繰り返すことで、「みんなとは違う見方が出来るようになる」と思っている。

インタビューから一言

「自分にとつての当たり前を問い直す」この言葉が非常に印象的だった。これを意識的に出来ている人がどれだけいるだろうか。少なくとも、自分はまだ不十分だと思う。今回、みつが紹介してくれた思考プロセスは、間違いなく現代社会を構成する一員として我々全員に求められるものだ。自分にとつての当たり前を再考することで、自分自身の世界を広げるチャンスにしたいと強く感じさせられるインタビューであった。みつ、ご協力ありがとうございました。

どう 「訳す」のか

関大連ヘッドのみずが「大大大」で扱った「黒人文学」、そして「訳す」という行為。それは、ラボっ子である我々全員、いや今の社会を生きる我々全員に関わるテーマであることに間違いはない。プレゼンテーションを通して、みずは我々に何を投げかけ、何を伝えたかったのか。インタビューを通して、その真相に迫る。

(interviewer 坂本夏輝)

中学生の時に初めて英語を習ったときに「違和感」を覚えた。でも、ラボの英語を聞くのは好きだった。そして、やっとその違和感を言語化できるようになった。それは、「訳す」ということ。英語を「訳す」とき、すり込まれた意味だけがその言葉の意味なのか。いや、バックグラウンドや文化に対する知恵や知識があれば本質的な訳に辿り着くことができるはずだ。

なつき) 何をきっかけに「訳す」ということや「黒人文学」について考えるようになった?

みず) 中学生で習う英語が大嫌いだった。Be動詞を覚えるときに動作を交えて覚えることに、とても違和感を覚えた。あたかもその動作に意味があるような、その英語の覚え方がとても嫌いだった。でも、ラボの英語は好きだった。ずっと感覚的に持っていた違和感が、年を重ねるにつれ言語化できるようになり、違和感の根源が「訳す」という行為にあるこ

とに気づいた。そして、大学の授業でトニ・モリスンの『青い眼が欲しい』に出会い、自分が感じていた疑問を扱うにあたって、いい題材だと思った。

「訳す」ことについて考えるようになって、生活にどのような影響が生じた?

学校の英語、座学の英語を嫌いになった。学校で学ぶ英語をコミュニケーションとして認識できなかった。今振り返ると、あれを「英語」と呼ばないなら向き合うことは出来たかもしれない、でも自

分にとって学校の英語は「英語」ではなかった。

中学生の頃に持っていた違和感を周りの人に共有していた?

あんまりなかったかもしれない。でも、もしかしたら周りの人は覚えているかも。やっぱり昔は言語化できなかった。でも、意識が大事だってことはずっと言い続けていた。単語を一つ覚えるにしても、ただ意味として覚えるのではなく、その単語の語源を理解して覚えることを大切にしていた。



写真：北陵京滋地区 上岡P 大3 本常瑞己

なぜ、トニ・モリソンの「青い眼が欲しい」を扱ったのか？

訳すという行為をする中で意味がすり込まれてしまっていることが問題だと思う。知識や知恵をもって、初めて正しい訳が出来る。例えば、「青りんばん」「Green Apple」。日本でいう「青」と英語でいう

「青」「Blue」は意味が違う。日本では昔から青々しいものを「青」という。そのことを知っている自分は、「青」≡「Blue」と訳してしまうことは出来ない。もつと本質的な「訳」が出来るはずだと思う。トニ・モリソンの「青い眼が欲しい」の冒頭の「ページも、著者のバググラウンドや

黒人文学に対する知識をもって、初めて本質的に「訳す」ことが出来るという点で、大大大で扱う題材としてふさわしいと思った。

大大大でみんなに何を伝えたかった？

ラボっ子が本質的な「訳」としての意識にずっと触れてきていることは本当にすごいことだと思う。ライブラリーは音のリズムとして、そしてストーリーとして流れる。そして、行間を読む訳し方をしていて、コンテキストを崩さない点がほんとにすごい。そのような本質的な訳に触れてきたラボっ子だからこそ、自分自身が「訳す」という行為をするときにどうするかということを考えてほしかった。

表面的に言葉を訳すのではなく、その言葉の裏側に隠されているものをくみ取って本質を捉えることの大切さを伝えたかった。みんなには「吟味する姿勢、鵜呑みにしない姿勢」を大切にしてほしい。グローバル化が叫ばれる社会の中で、外側だけにアンテナを張るのではなく、内面的な部分を深化させてほしい。

その視点を持って、今の社会をどう捉える？

英語と日本語は語族がそもそも違うのに「」で結びつけると考えること自体が

間違いだと思う。なのに、それが当たり前のようにされている今の世の中は危険を孕んでいる。「Google」などの翻訳機能を使えばボタン一つで英語が日本語に変化してしまう。それは、確かに便利なことかもしれないけど、それを鵜呑みにしてはいけないと思う。その英語の背景にあるものは何なのか、ということを吟味することが大切だと思う。

【インタビューから一言】

ラボっ子であるからこそ、みずが感じた違和感や、本質的な「訳」というものに共感できる人は多いのではないだろうか。プレゼンテーションの中でみずの言葉にもあったように、これは決して言語、文学においてのみ言えることではない。様々なものが入り混じり、一種「混沌」ともいえる現代社会を生きる我々に求められるのは、「当たり前を疑う姿勢」だということを強く感じさせられるインタビューであった。みず、ご協力ありがとうございました。

人の質を問う

みず) 教育について学ぼうと思ったきっかけは？

アンディ) まず、「大大大」で扱ったのは自分の専門の教育学ではなく、教育社会学なのね。それを「大大大」で扱おうと思ったきっかけから話すね。大学の選択の授業で興味が湧いたのが最初。で、その授業内で大学院生の方と関わり、教育の三資本のことなど学んだのね。読書とか、文化資本、つまり家の中にどんな本があるのか、家庭によって差があることを感じていて。ライブラリっていう素晴らしい教育資本がみんなの手元にあるから、扱ったら面白いんじゃないかって。あとは、先生になりたい人はラボに多いイメージだけど、それを研究する側面って珍しいかなって思ったから。

「聞き上手」のアンディへのインタビューは、同じく教育のがーみんの話からもつながる話だ。「大大大」で、彼女が僕たちに伝えてくれた教育に必要な環境の話。そこに実は、人としての質を重要視するアンディのスタンスがあった。さあ、今回はこちらが聞き手。何が聞けるのか楽しみだ

(Interviewer 本常瑞子)

子供を蔑ろにする大人が多い地域だと、そういう大人になる子供が増えていってしまうのかもしれない。だけど、交流をしていくことでそこは改善できると思うんだ。ラボなんかまさにそうだね。こんなにもいろんな人と交流できる。大事なのは人だと思う。環境やモノが豊かになってもそれをどう使うかとかっていう質が大事なんじゃないかな。

確かに、がーみんはまさにそうだったよね。教育を研究するのか。じゃあ、二つ目教育学を学んだことで変わったことは？

自分がそれを学んだ当時、講師のバイトをしてたから、そういうところで自分の持っている知識を還元しようとしていた。あとは、閑静な住宅街だから教育格差とか、近所の子供達、ママ達の様子を観察するようになった。ちよつと専攻の話をすると、教育学では、デバイスの使い方、教材のレイアウト、文書デザイン、教材デザインとか。自分の研究とかってなるともつと違うんだけど…。

「大大大」で伝えたかったことって？

ラボという特殊な環境の中で、大学生として物事を考えられるようになったからこそ改めて捉え直して欲しいというのが一つ。あとは、教育団体というところにいるからこそ、教育という部分で必要なものが何かとか、知っているのか知っていないのかでは、これから社会を担っていく上で違うと思って知って欲しかった。

がーみんも町全体で教育していく意識が必要って。アンディはそのためには、具体的に何を共有したらいいと思う？

難しいところなんだよな。教育の業界ってそれを学んでいる人からしたら当たり前のことが多いんだよね。何を見たらいいんだろう…。難しいな！(笑) いろんな新聞とか、

記事とか、意外といろんな小学校で行われている「新しい教育の形」が載っていたりする。わかりやすくまとめられているものが絶対にあるから、そこに目がいくようになるといいのかなって思う。

文化資本的には何が大事？やっぱり本？

というか、読書する習慣。教育効果的にも読書は認められている。家にあるのが一番いいけど、図書館とか。

「近くの小さい本屋で本を買いなさい」って話を聞いたことがある。近所の小さな本屋を守ることが子供の読書量に影響するからって。

んー、ちょっと専門外だから、詳しい研究は知らないけど。あんまり関係ないと思うな。それよりも周りの大人が本を読む環境を作っているのが大事だと思う。私は、小さい頃、母に連れられて図書館に紙芝居を見によく行っていて、そこで毎週のように自分が読みたい本と、母が読ませたい本を借りて来ていて。それが当たり前だった。そういう小さい頃からの習慣って絶対あると思う。

小さい頃からってポイントだね。

うん、でもやっぱり周りの大人かな。先生も、親も、地域の大人もそうだし。小さい頃、ある小説家さんが個人でやってる図書館があつて、そこによく通っていた。そういう

ところに集まる大人ってやっぱりいろんな話をしている。小説家の人がおすすめてくれる、もう絶版になったような小説もあつたり。知らない世界を知るのに、とてもいい環境だったんじゃないかなって。

ラボやっていると海外の話にもたくさん出会う。でも、新訳が出ないと絶版になってしまいうものもある。そういう意味では、海外のものよりも母国語のものが豊かになることって重要なのかな？

んー、私的にはそこまで拘らなくても良いとは思う。でも、高校生とかになってから読むものは、なるべく母国語で…と思う。微妙に言葉によってニュアンスが変わったりして



写真：北陵京滋地区 篠原P 大4 田嶋彩恵(アンディ)

しまうから。なるべく母国語で、っていうのはすごく大事だと思う。結構翻訳がいい加減だと、全然違ったりするから…。もちろん（翻訳が）うまい人はうまいんだろうけどね。んー、でもどうなんだろうね。そんな気がする。

その点、ラボライブラリーってどう？

言葉のリズムを大事にしてるのは、わかるよね。私的にはすごくいいと思う。英日を比べて違いがあるとそれも発見になるしね。私は今、「わだつみのいろこのみや」をやっている。『剣を潰す』ってどういうことってなるけど、英語で読むとわかったり。そうやって、二つの言語からわかるようになっていくから、すごく好き。

結局何が大事なんだろう？

「文化的再生産」って言葉がありまして、大人の作っている状況を子供が受け継いでいくっていう事で。だから、子供を蔑ろにする大人が多い地域だと、そういう大人になる子供が増えていってしまうのかなってのもある。だけど、交流をしていくことでそこは改善できると思うんだ。ラボなんかまさにそうだよね。こんなにもいろんな人と交流できる。大事なのは人だと思う。環境やモノが豊かになってもそれをどう使うかとかっていう質が大事なんじゃないかな。

宗

教とは？

宗教って一体何だ？政教分離は必要なのか？大学で宗教（主にイスラーム）について研究しているみーはーが2020年2月関大連の大大に登壇した。国際交流に参加したことがあるラボっ子の多くは「宗教」について考えた経験があるのではないだろうか。いや、国際交流参加経験者のみに限らないかもしれない。我々は無意識にも、日々の生活の中で「宗教」に囲まれて生きている。そのように我々の日常を形成する「宗教」を、みーはーが大大で取り上げた本意とは。（interviewer 坂本夏輝）

ホームステイをきっかけに、なぜ人間性に違いがあるのかに興味をもった。どこからこの違いが生まれるのかという問いに対して、辿り着いた答えは「宗教」。宗教について考えることを通して、ただ目の前の情報を鵜呑みにするのではなく、多くの情報を基に「自分で考える」ことの重要性を知った。

宗教に興味を持ったきっかけは？

まず、宗教というものに興味を持ったのは、中学生の時に参加したコロラド州でのホームステイがきっかけだった。ホストファミリーがキリスト教徒だったため、頻繁に教会に行くことがあり、そこでアメリカ人と日本人との「人間性の違い」を強く感じた。日本では、何かに挑戦して失敗した時に周りの雰囲気が悪くなくなるが、アメリカの教会ではそうではなかった。

た。教会ではみんなが失敗を受け入れてくれた。この経験をきっかけに、人の

「人間性」や「価値観」といったものがどこから生まれるのかについて興味を持った。そして、大学は国際交流や文化について学ぶことの出来る学部に進学することを決意した。大学で様々な授業を受ける中で、宗教について授業で触れた時、「人間性は宗教に大きく影響を受けるのではないか」と考えた。そこで、宗

教についてもっと深く研究したいと考え、宗教を扱うゼミに入ることを決めた。

宗教について研究することで、日常生活に変化はあった？

色々な動作・行動が宗教に由来しているのではないかと考えるようになった。また、メディアから情報を得るときに、

多角的な視点からその情報を捉えるようになった。

大大大でのプレゼンを通して、みんなに伝えたかったことは？

「一つの情報を鵜呑みにせず、多くの情報を基に自分で考える」ということの大切さを伝えたかった。様々なメディアを見ていても、断片的な情報だけで物事が認識されていることがよくあると思う。イスラームに関して、テロ事件やイスラム国 (ISIL) といった暴力的な側面ばかりが強調されて、ネガティブな印象を持たれている部分があると思う。偏った情報だけを鵜呑みにするのではなく、たくさんさんの情報を収集し「自分で考える」ということが大切だと考えている。

みーは無宗教をどう考える？

「宗教」と定義されるものを信仰していないということ。プレゼンテーションの中で自分が無宗教だと言ったのは、自分は神、仏を始め、特定の教えや思想を信仰していないということ。日本文化の中には宗教から派生した慣行があるが、それは生活に根付いた習慣として行っているものであって、その行為の中に宗教的な信仰は持っていない。



写真：奈良大阪地区 大橋P 大4 杉山美晴

宗教って人の生活を豊かにする？

価値観や文化が生まれるという点、信仰が心の拠りどころになるという点では宗教は人の生活を豊かにすると思う。ただ、宗教的な思想や教えが増え過ぎることや、自分と信仰対象以外の部分からの作用が働くことによって、宗教が生活にネガティブな影響を与えることもあると思う。

なぜ政教分離を扱ったのか？

自分の中で当たり前だと思っていることが、他の国や文化の中でも当たり前だと言えるのかという問題提起をしたかった。

た。日本では実際に政教分離が出来ているかという問題は別として、憲法に政教分離が定められていることは決して当たり前のことではない。また、一概に政教分離をすることが正しいとも言えない。そういった、自分たちが当たり前だと思っている物事にも宗教が、関わっているということを政教分離について考えることを通して知って欲しかった。

【インタビューから一言】

個人が宗教について考えるとき、その考察は主観的なものになる。「多くの情報を基に自分で考える」ことは、宗教を中立的・学問的な立場から研究するみーはーだからこそ持つことの出来る視点であると感じた。膨大な情報に囲まれた社会の中で、今後、我々はこの視点をもってどのように立ち回れるのか。それこそが、この「大大大」参加者に期待されるものだろう。みーはー、ご協力ありがとうございました。

瞬

間を楽し ませた い！

緊張気味にインタビューに応答してくれたのは、唯一の「大大大」1年生登壇者しの。明るい性格とは裏腹な、控えめで、謙虚な姿勢。その内側に秘めていたのは、誰かを楽しませることへの憧れ。当時、進路に迷っていた女子高校生が、自ら選り取った道の先に見据えるものは何か。そんな彼女だからこそ、みんなに伝えたかったこととは一体なんだっただのか。(Interviewer 本常瑞「J」)

行動してほしいってことが一つと。PIAってものを扱ったよね。たとえばコーチなら、キャンパーの子と、すれ違う数秒で相手を楽しませる。その数秒でハッピーにさせる、っていうことを学んでほしいなってことです。

みず) 興味を持ったきっかけは？

しの) よくユニバーサルスタジオジャパンに遊びに行っていました。進路について悩んでいたときに、その時はラボを中心に考えていて…。ラボのために4年制大学行こうと思つてた。だけど、ラボは最後には卒業してしまう。そんな時に、ユニバのスタッフの人とお話する機会が増えていった。アトラクションメインで考えていたけど、スタッフも一つの楽し

める要素なんだと感じて、そんなふうに関心もなりたいと思つたからです。

興味を持ったことで生活面で変わったことって？

よく言われるのは、「テーマパークスタッフは見られる職業」ってこと。立ち方も変わったし、普段からの言葉遣いとか意識するようになったし。「ホスピタリティ」ってことを学んでいるから、困っている人がいたら自分から声をかけ

るようになった。それから、前より人を楽しませたいという気持ちが強くなりました。

ホスピタリティが活きた場面ってあった？

自転車漕いでいたら、段ボールをカートで押している業者さんがいて、たくさん段ボール落としちゃって。瞬発的に声かけた。あっちは驚いてたけど「え、あ、大丈夫です」みたいな。昔だったら

考えてたけど、今は考えるよりも先に動くようになりました。普段から学んでいるから、それ自体をちゃんと活かそうと意識しているかな。人のタイプにもよるから、誰にでもできることではないかもしれないけど…。とりあえず、行動に移すこと！考えて終わるより。

学んでいることで他にも生きてることって？

手話と指文字を学んでいて。スマホって便利だけど時間かかるよね。紙とかペンがない時って、とても使える。何も無くても手話、指文字使ったり。あとは表現力の勉強もしてるから、ジェスチャーで使えたり。

「大大大」で伝えたかったメッセージって？

さつきも言ったけど、行動してほしいってことが一つ。PIAってものを扱ったよ



写真：奈良大阪地区 知名P 大1 藤田詩乃

ね。たとえばコーチなら、キャンパーの子とすれ違う数秒で相手を楽しませる。その数秒でハッピーにさせる、っていうことを学んでほしいなっていうことです。

1年生で唯一の、「大大大」への挑戦だったよね。今もそうだけど、すごい緊張してた。やってみてどうだった？

自分のやってることが特殊だから、知って欲しかったからやってよかった。あと、自分自身、語彙ないのはわかってたけど、発表すると、言葉の引き出しがなさすぎて…。慌てちゃった。もつと頑張ろう、みたいに思った。テーマパークで働くとなると必要な部分だと思うから。そこを頑張ろうと思った。ただ、オンライン

ンでやったから、みんなの前でやったけど、できた実感がなくて。緊張して、知ってる人の顔スワイプして見つけて安心みたいな（笑）対面でやりたかったこともあるから、いつか機会があればできたらなうって。

たとえば何やりたい？

ダンス！前から思ってた。これはずっとやりたい。テーマパークのショーダンスを学んでいるから、その簡単なやつをみんなでもやりたい。元々、前に関大連に早めに来たときに、周りの人から興味を持ってもらって、授業で習ったダンスを音楽かけて皆の前で披露したら「やりたうい！」って言うてくれて。その時は覚悟はなかったからすぐにやるとは言わなかったけど。それがなかったら挑戦しなかったかな。だってまだ、学んでる身でもあるから、前に出てやってもいいのかな、って気持ちになったけど。

今後、どんな関大連にしていきたい？

関大連ってみんなゴチャ混ぜでできる感じだと思った。コーチとかカレッジとか関係なく…。しのは、それこそテーマパークみたいな、ワクワクする関大連にしたいな！

何

故ラボを やるのか

このインタビューは実現しないものだと思っていた。医学部で、昨年の大
学5年生までラボを続けたい旨みに「基本は現役でこういうのはやればい
い」と言われることはわかっていたからだ。この文集の目的を伝えるうち
に、この文集は誰が何のために、誰に渡したくて作るのか、ということ
を僕自身問い直すことにもなった。いづみが「大大大」をしてくれたのは去
年の3月のラスト関大連。実は彼女は企画を受け持つことを避け続けてい
た。承諾を得たのは前日の夜、梅田まで直談判しに行つて、ようやくの事
だった。「私なんかは今更伝えることなんて」と言っていたいづみが一晩
かけて作った企画は「僕たちがなぜラボをするのか」という問いの答えを
見つける旅路だった。渋々ながらも、こちらの意図を汲み取り、今回のオ
ファーに応じてくれたいづみは、あと2日でヘッドを退く僕も知らなかつ
た過去の話进行を明かしてくれた。(Interviewer 本常瑞田)

その時のヘッドもコーチをやっている、彼女もコーチ、カレッジ、テマ研
に入っていない人がもっと関われる場にしたいって言うだけ、関わりづ
らさは拭えなかった。あつちで、コーチとかカレッジの話してたり、メン
ツが変わらなかつたり。1年生が今中心となると集まってるって話を聞
いて、すごいそこを気をつけないと、その子達が面白くなっちゃう。

みず)もう1年っていうのはどこから?

いづみ)わりと純粋にラボしたいかなって
思つて。やめることもできる、続けることも
できるっていう状態だったから、やめて得る
ものと、続けて得るものを考えたら、続けよ
うかなって。4年で終わるのが一般で、同期
と卒業できて、つてのはあると思うんやけ
ど、それは例えばコーチ会議やテマ研を4年
間続けてたら、その4年をどう使うとか計
画をしてたら、あつたのかなって思う。でも

そうじゃなくて、私は勉強とかバイトとかい
ろんなものを考えて、常に取捨選択してき
た。テマ研を4年続けるのが絶対いいって
思つてた、今でもその考えはあるけど、やれ
る年だけやれたらいいかって考えでもあつた
から。4年計画とか、最後の年だからとか、
なかった。あんまり4年生になるまで、深く
考えてなかった。いざとなるとみんなが就職
が決まつてとか。でも同期たちは就職とか
新しい環境になるけど、自分って学生のまま

だし。今までセーブして、なかった時間が、
今の自分にはあるのになつて。いろんな声
かけてもらつたり、色々このままでいいの
かっていうのを目の当たりにしたりして。そ
こに関われるつてのものもあるから、やればい
かなって思つて。

どうだった?それで続けてみて。

5年生は、自由でした(笑)。期生でどうと
か、4期だからとか、なくて。だから、楽し

かったけど。自分のことを言うなら、そうかな…。下に伝えたいとかって言うところは4期がすれればいいかなって思ってたから。アディショナルタイムだった、すごくいいよ。

自分のことを言うならって言うのは…含みがあると思うけど。

同期たちと比べて、関わりづらいつてのはあったかも。コーチとかもやってこなかったし。関大連の中なのに、それぞれの活動の空気があったりとか。私自身もしつかり関わってきたわけでもなかったし。3年くらいまで、やりきれない感はあった。コーチ、カレッジに参加せず関大連にきている人は少なからずそこを感じるだろうと思う。しょうがないんだらうけど、そういう人たちが少なくなっていくのはわかる。そこら辺を打開していったらいいのかなって。関大連と他の活動をちゃんと分けるって言うところ…（少し間を置いて）みずつていつ入ったんだっけ？

えっと、関西がわかものをやった次の年かな。

そっか、私が3年の時にわかものしてるから…。1年の頃、医学部入ったからコーチ入るのやめようかなってなった時に、当時の関大連ヘッドから声をかけてもらって、それまでヘッドだけで回してたんだけど。実は「大大」見たいなことをその時してたよ。

え！？そうなの？

うん、わりとそれは続いてた…と思う、多分。その主要メンバーに誘われ続けてたんだよね。その時とすごい似てた。それぞれ違う学び、夢を持ってるからそれを共有できたらしいんじゃないかって活動をしていた。ただ、その時の私たちはそれが外に向いてたから、自分たちだけじゃなくて、父母会とかでお父さんの話を聞きたいってなって。「親父の会」つてのを開こうと頑張ってた。コンセプトとしては、みずの「大大大」つて似てたよね。向いてる方向は違ったけど。まあ、結局私が言いたいののは、その時のヘッドもコーチをやっている、彼女もコーチ、カレッジ、テマ研に入っていない人がもつと関われる場にしたって言うってたけど、関わりづらさは拭えなかった。あつちで、コーチとかカレッジの話してたり、メンツが変わらなかつたり。1年生が今中心となろうと集まってるって話を聞いてて、すごいそこを気をつけないと、その子達が面白くなっちゃう。これは、みずへのメッセージ。あと1年いるんやんな？みずは。

…その言葉、胸に刻みます。じゃあ、少し質問を戻して、最後の関大連で伝えたかったことってなんだった？

伝えたかったことは…。自分がラボをしている意味を見直さないといけない、つてことを伝えたかった。うまく言葉になっていないけど、ラボをしているからこれをする、コーチをしているからいつまでにこれしなきゃ、とかじゃなくて。自分がやりたいから、楽しんでるから、やっているんだ！つて言うこと。関大連つてそれらの繋がりの場所だと思った。「あ、あの人もソングバード好きなんだ。じゃあ、一緒に何かできるやん」つて思える。あの企画は、私にとって関大連の「見える化」だったの。

インタビューを終えて

当時「大大大」を始めようか迷っていた僕の背中を押してくれたのもいずみだった。あの一声がなかったら…。取材後、「どんな人も独りでは何もできない。でも、相棒がいれば別。だけど、ヘッド宣言の様子を見て、みずは仲間作るの下手そうだったからねえ。」と聞いていたことを教えてくれた。僕からは少ししか現状の話をしなかったのだが、それでもいずみは関大連の様子を想起し、語ってくれた。どんなことも蔑ろにしない。卒業したいずみからの最後のレッスンだった。

ひとりのヘッドに

影ふたり

翌年の活動を支えることになる三本柱は、もしかしたらこの時に結成されたのかもしれない。2019年1月1日「大学生の、大学生」による、大学生のための時間「初の出航は、『知ってるようであんまり知らない3DCGの世界』（だいふく）と、『なぜ、今日関大連にきましたか？』（なつき）という問いかけで彩られた。現在も思い出されるだいふくの鮮やかなプレゼンテーション、今なお関大連の本質を捉え続けるなつきのアイデア、それらはいったいどこからやって来たのだろうか。（Interviewer 本常瑞[口]）

関西大学生連合を支えた「影のヘッド達」

みんなの専門的なこと、大学で学んでいることを、ぜひこの関大連で披露してほしい。普通なら興味もたないようなこと、知らないことを共有したり。そういう場にしていきたいなって思いがあった。（だいふく）

「大大大」を始めた本質って、自分たちの思い描いている活動を作ることができるとことを示すことだったと思う。それを見て、じゃあ関大連、自分たち、こういう活動したいっていうのに繋げて欲しいなって思う。（なつき）

みず）まず、だいふくに聞いていこう。CGに興味を持ったきっかけは？

だいふく）映画を見て、本物と偽物がわからない面白さ。自分でもできるのになって。高校の時に放送部に入ってドラマを作ったことがあって、映像作るのはその時から好きだった。

生活面で変わったことってある？

だいふく）普段からのQを作り始めるようになって、SNSでも反響があるようになってたり

とか。色んなものを見て、これってどう作るのかな、とか考えたりする。

最近、悩んだものとかある？

だいふく）だいたい前に乗り物が苦手。自分以上にデカイ物だと、構造を理解しないといけない。ヘリコプターとかだと、写真を探してみるしかないから。

あの時、関大連でみんなに伝えたかったことって？

だいふく）自分の周りで、CGを作る人っていないと思うから知ってもらいたかったということと……。人を驚かせることが自分は好きで、マジックをやったりもしたことがあって、映像で作って驚いてくれる人がいたら、それって面白いな、素敵だなってことを共有したかった。それと、1回目の大大大でやることで、みんなの専門的なこと、大学で学んでいることを、ぜひこの関大連で披露してほしい。普通なら興味もたないようなこと、知らないことを共有したり。そういう場にしていきたいなって思いがあった。



写真：奈良大阪地区 坂本P 大3 坂本夏輝

みず) 次に、なつきに。アイデンティティと
いうことに関して、興味を持ったきっかけ
は？

なつき) アメリカにラボ留学に行ったとき
に、自分がすごい日本人だなんて思った。違
う環境、文化の中で過ごして実感した。日本
人らしさってなんだろう？何が自分をこう思
わせているんだろう？って考えるようになった。
そこから、自分の大学の研究テーマにも
なつて、難民のアイデンティティの形成につ
いて、研究してるんだけど。

生活面で変わったことってある？

なつき) その人らしさを大切にするように
なったかな。なんだろう...うーん、それに尽
きるかな。同じものを求める、求められるつ
てことに対して違和感を持つようになったか
もしれへん。



写真：兵庫地区 藤川P 大3 藤川大輔

あの時、関大連でみんなに伝えたかったこ
とって？

なつき) だいふくと一緒。正直、アイデン
ティティについてみんなに考えて欲しいわけ
ではなかった。あのプレゼンをした理由は、
関大連における新たな価値の創造についてい
うか。みんなの意識次第で関大連ってという
場になるんだよ。そんなことができる場って
関大連以外にないと思うねん。関大連の意義
みたいなところを伝えたかった。何よりシン
プルに楽しい。自分が興味あることに対して
考えて、みんなに共有してって。

みず) 僕がヘッドとして「大大大」を最初に
やることもできたじゃん。でも、ふたりが
やった。そこにすごく意味があったと思う。
ふたりが始めた「大大大」のあった2年間の
関大連について、どう思った？

なつき) シンプルに、「大大大」が回数を重
ねていろんな人が話してくれているっていう
のは、自分たちが理想として思い描いていた
姿であるから。めちゃくちゃ嬉しいし、やつ
てよかったなって一番思うかな。ただ一つ思
うのは、そこからどうこの活動が発展してい
くのかなっていうのは楽しみ。今のままで続
いていくのはいいかもしれないけど、それは
あくまで俺たちが始めたこと。今後参加して
いく人たちがそれをどう変えていくのか。こ
れが関大連の型ではないから。「大大大」を
始めた本質って、自分たちの思い描いている
活動を作ることができるとことを示すこと
だったと思う。それを見て、じゃあ関大連、
自分たち、こういう活動したいっていうのに
繋げて欲しいなって思う。

だいふく) なつきが言ってくれた通り。そし
て、どの回も楽しかった。知識を吸収した
り、それを伝えることができたり。共有した
り考えたりすることができて。この「大大
大」が毎回定番の企画になったのは、自分
の中では理想の形かなって。この前の教育の話
(2020年11月関大連)で、みんなで議論す
るっていう形もできたから、自分でも思っ
てなかった方向に発展するんだなって思った。
来年以降この「大大大」が続いて欲しいとも
思うし、まだ参加してない人が参加できるよ
うな企画が共に増えていって欲しい。ずっと
続いていく企画として、かつ、そんな活動が
増えて欲しいなって思う。

4期生に聞く！関大連の魅力とは？！

北陵京滋地区 さくら（関大連、カレッジ）

行き始めたきっかけはカレッジ活動と同じ曜日同じ時間だったから。実は私、高校まではパーティでの活動しかしてなかったんだよね。大学ではカレッジ活動に参加していて、月曜18時からには予定をあけていたから何となく参加してみたんだけど、気づいたら4回生まで行ける時には殆ど参加していた！

関大連の魅力は関西の大学生の集まる場所であること！こんなに色々な価値観の同年代と関わるなんてらばじゃないとないよね。大学生活動・地区活動・パーティ活動の紹介をしたり皆で課題の解決方法を探ったり、色々な事に挑戦する場所、そして尊敬できる人に会って目標を見つけられる場所でもあったなあ。

それから、関大連は関西の大学生で何かやりたいってなったときに本領を発揮するよね！

例えばだけど、STPとか支部合宿、各活動を発信する場であったり、わかもの開催支部になりたいってなった時にも普段から一緒に活動している信頼できる仲間とならお互い安心して支えあえるよね！

後輩らばっこへひとこと！

色々な人と会って色々なものと交流して人生経験を積む場でもあるよね。

これこそ大学生らばっこやからこそできる活動だし、

こやんなんてもったいない！！

兵庫地区 やぎ（関大連、コーチ、テーマ研）

初めは行くものだと思ってたんだ。コーチ活動をしていたから月曜は空いていたし。

関大連の良さかあ、、色々な人がいることかな。関大連でしか出会えない人もいるからね。みつくんなんかはそうだよ。他の地区の人や他の活動をしている人たちと関われるのが嬉しかったな。わかものとかに参加するわけではなかったけど、関大連で出会った先輩や同期もたくさんいた！

時間の使い方が自由やから、なんでもやろうと思えばできるところが好き。やぎコーチでもテーマ研のやぎでもなく、一らばっこのやぎとしていられる場所！いろんな活動をする中で参加者になることが減った中で唯一参加者として行き学べる場所だった。

後輩らばっこへひとこと！

時間を大切に。参加できる場所にはぜひ自分の意志をもって参加しよう！ほんまに貴重ないいとこやで。

兵庫地区 みつくん（関大連、テマ研）

関大連は大学生活動の原点でした。

サッカーに打ち込んでいたから高校まではパーティのみの活動でした。大学でも緩く続けるつもりだったけど、先輩に誘われとりあえず参加。

キャンプとかもあんまり参加したことないから全然大学生活動についても知らなかった。

だけど、関大連に行き始めそこでできた仲間と交流を深め、わかもの実行委員やテマ研への所属など活動の幅を広げていくことになった。キャラバン隊なんて存在すらも知らなかったけど、色んなパーティに行く楽しさを知ることができた。

自分にとっては関大連が大学生でのラボの入口やったし、大学生活動を始めるきっかけだった。関大連を起点にどんどん活動の幅が広がり、高校生の時には想像していなかったラボ生活を歩んでいます。

関大連の1番の魅力は交流だと思う。そもそも大学生までらぼを続けてる人って貴重だよな。そういう稀有な人たちが集まってる場が関大連。

大学生活動してる人してない人色んなことしてる人が交流できる場だから、普段関わらない人とぜひ関わってほしい！バックグラウンドに関係なくふらっときて楽しめて色んな人と交流できる開かれた関大連であってほしい！

後輩へひとこと！

関大連ってめっちゃ貴重な場だと思う。でも関大連って自主活動だから、誰かがやってくれるだろうというマインドでは継続は難しい。どれだけみんなにとって意味のある活動を作っていくかが続いていくかどうかの鍵となる。だからこそ、自分たちがどんな関大連にしていきたいかを大事にしながら作ってほしい。

決まった4年間という時間を濃くするかどうかはどれだけチャレンジできるかどうかにかかっているよ！

阪和地区 キャロル（関大連、テマ研）

私はテマ研のヘッドになった3回生の3月から参加しはじめました。ヘッドとして自分の活動を背負って参加してる意識を持っていたかな。

関大連はラボをやってきた大学生が集まることのできる場。有意義だ、やりたいって思うことを好きなようにできる場。来たことのない人には意義が伝わりにくい活動かもしれない。だけど貴重で素敵な場所！

後輩らぼっこへひとこと！

大学まで何かを続けるってすごいことだよな。そして関大連はそんな共通項を持つ大学生らぼっこがそこまでにした経験から得たそれぞれの持っているものを持ち寄って見せられる機会！

誰が来てもいい場所だし、色んな出会いを楽しみにきてほしい！

アイデンティティなのか人なのか何か別のものか、それがどんな出会いかはわからないけど色んな出会いが散らばってる。

だけど、自主的な活動は続けなければなくなっていく。積み重ねては崩してまた積み重ねて、時代に沿ってそこにいる人たちで作るもので、受け継いで行くのが1番難しい活動。



Q1. 関大連はどんな場？ Q2. 関大連の魅力は？

関西の大学生が集まれること

価値を創造

出会いがあること

自由交流

考えを吸収できる

年代を越えて繋がれる

意見を共有できる

人と気兼ねなく話せる

楽しい

やりたいことをできる

学びもある

おもしろい人が集まってる
考えを共有できる

何をしても許される場所！

ふらっと遊びに来れる

憧れ

学びの場

一つになれる

輪を広げる 自由な場

交流の場

繋がりが 他パーティとの交流

ハッピーな場所

異なる意見を持つ大学生

出会いの場

自分との出会い
刺激を与えあう場

2021
10 現在

名残惜しいが、時間がやってきた。自問自答してみよう。

「今日の関大連、どうだった？」

20:00

Q3. 来年やりたいことは？



20XX



未来

今しかできないこと

大大大

仲良くなれる企画

ピクニック・プレゼン大会
ぶったそん

みんなのことをもっと知りたい！

楽しめる企画

季節ごとの行事

運動会

クイズ

キャンソン作り
ひとつしかない地球の手話

関西支部わかもものフェスティバル！！笑

ドレスコードを決めて集まる！笑

ソングを教わりたい

ファッションショー

ミュージックビデオ撮影

ハロウィンパーティー

クリスマスパーティー

BBQ

合宿

料理対決

即興T.A

キャラクターなりきり鬼ごっこ

英語縛りゲーム

音楽祭

つぶソン

難しいソングを全員で完璧に踊る

家に帰ると、ポストにメッセージが。送り主は...？

関大連の思い出

他の大学生活動の子達と話せたこと
ほのか

私にとっては、活動を超えて同期と他のラボっ子とラボが出来ることが純粹に嬉しく、かけがえのない思い出として、今も心の中に残っています。みるく

大学1年生のときに、大学生活動を深く知るきっかけになりました。ほーむ

コーチ、カレッジ、テマ研の子達が一緒に活動をする唯一の場だねー。楽しかったなあ。じげん

他の支部活動では出会えない、なかなか話す機会のないラボっ子とたくさん知り合えたこと。支部の大学生のことも地区のこともパーティのことも、色んなことをみんなで真剣に考えて時に楽しく時に熱く語り合ったこと。とっと

メンバー持ち寄りの企画(憧れられる人になるためには?とか) きょうこ

無人島にひとつだけ持っていくものに「クレンジング」と答えて笑われました! あんな

普段関わることのない他活動の子たちと一緒に活動できたことかなあ 企画をやらせてもらったり、知らん活動について知ったり、自己研鑽の時間になったり、いろいろした気がします!!なんしょー

大学1年生の時の新入生歓迎会で同じ年にシニアメイトをやった友達と久しぶりに会い、あまり地区・支部活動に出ていなかった私のことを覚えていてくれたのがとても嬉しかった。さつき

関大連の始まる前の知らない大学生、自分の入っていない大学生活動の人との会話。けんけん

初めて行った関大連のこのこ

毎月いろいろな企画を行ってもらい楽しかった。りゅう

いろんなワークショップをしたこと あかね

持ち寄り企画をする雰囲気が好きやった えま

【ラボの魅力に関大連の場で深め、1人1人が発信者として後輩ラボっ子に伝えよう】をテーマに、ナーサリーやソングのイメージをテーマ活動風にアレンジしてみたのが印象的でした。それぞれがこれまで経験したこと、学校で勉強していることや先輩から後輩へ伝えたいことなどを、プレゼンし、みんなでワークショップをしながら、自らのリーダーシップやプレゼン力、思考力を深めることが出来ました。(高校留学、中学交流の魅力や時間の使い方、人生とはなどのテーマ)みるく

自分の想いを伝えたり相手の考えを知ったり、交流が深くなる企画が多かったこと! なっちゃん

一番の思い出は中高大生合宿ですね。一時期開催していなかった合宿を再び開催するための立ち上げメンバーとして、関大連が主体となって企画・運営を行いました。コーチ、カレッジ、テマ研、地区活動等経験豊富なラボっ子が集う関大連合だからこそ、より深く多様な意見をプログラムに取り入れることができたと思います。ひーろ

わかもの!(みなこ、はいじ、らくちゃん)

バカ騒ぎしながらソングしたり、ゲームしたこと まどんな 大学生でやるソング、レク けんけん

関大連(関西の大学生年代ラボっ子)のために取り組んだこと

広く関大連を知って欲しいと、色々新しい取り組みを試行錯誤した記憶があります。

マスコットキャラクターを考えたり、HPやブログで活動報告発信したり、広報誌を出したり…。それを話し合っ、あーでもないこーでもないと言っている時間が一番楽しかったです。 あゆみん

3年時支部ヘッドをさせてもらった時に、沢山の行事を計画し、たくさん人を巻き込んで楽しんだ思い出。支部の新入生歓迎会、花見、フットサル、支部合宿、わかものなど。特に1ヶ月に1回しかない関大連をいかにコーチ活動やカレッジ活動がない日にせず、できるだけ参加してくれる大学生のために身になる時間にしようとした。例えば、songbirds研究と題し、キャンプの共通ソングや、難しいソング、そしてパーティや地区広場で歌えて、教えられるように共有した。またコーチ、カレッジ、テマ研の活動で情報を共有し、時に地区やパーティの悩みや改善点など、当時は大学生らしく、たくさん悩み、話し合った。そうやってできた関係性が支部としての魅力や、強みに繋がり、翌年のわかものの開催地に繋がったと思う。ジェニファー

2期と3期の時、関大連のヘッドをさせていただきました。コーチ、カレッジ、テマ研、無所属。それぞれ考え方やモチベーションが違う大学生が集い、関大連としての方針、目的を共有し活動することの難しさはリーダーとして常に感じていました。その中でもみんなが強く共感できたのは「年下の世代のために何かしたい」という想いでした。その想いを形(特に地区活動の強化と中高大生合宿の実施)にするプロセスと一緒に、無我夢中にできたことがとても良い思い出です。じゅんぴい

関大連の魅力

パーティや地区を越えて、世代を越えて沢山の仲間との出会いがある。またその出会いを通じて心に残るような活動ができる。みなこ

色んな背景をもっている人たちが垣根を越えて、交流できるところ。やりたいと思ったことを自分たちで作り上げることができるところ。自由なところ。はいじ

自分を知ることができる、大学生の本気のトークができる。りりー

活動も地区も違う仲間と、毎月会って近況報告しながら、お互いに高めあえるところ!あ

とは各地区や活動の知らない一面を知れるのも関大連ならではの!けんけん

関大連でしか出会えない仲間や、顔がある。こくとー

遊びはもちろん、ラボ以外の事でもみんなの考えや思いを聞けるところ! まどんな
いろんな大学生で集まって大学生活動やパーティ、地区ではやれないことを自由に
できること あかね パーティで活かせる(IBソングなどパーティでできそうなことを
ゲットできる)まい

関大連ではラボだけでなくこれまでの経験から自分がどういう力を持っているの
か、どういう考えをしているのかを考える機会があるので、ラボ活動の振り返りを
でき、これからどのようにラボの活動、ラボ以外での活動をやっていかようかを選択
できるチャンスが多いのが魅力だと思う。また、関大連前のみんなが徐々に集
まってくる時にいろんな人と雑談をすることができるのも大きな魅力だと思う。
さつき

やっぱり、普段関わることのない他活動の方たちをはじめ、たくさんの関西大学
生ラボっこと関われることです!各々の考え方とか、大事にしてることとかを知る
ことができるのは大きな魅力ですね! なんしょー

あれだけ多くの人たちが集まって何かをすれば自ずとそこにはドラマが生まれる。ら
くちゃん

〇〇所属の自分ではなく、個としての自分を売り出せる。のこのこ
大学生活動のベース!関西ラボの魅力を深めるために、みんなで知恵を出し合うこと
は大きな魅力だと思います。また、他の活動や、他の地区の取り組みを知ることがで
きる機会があるのも、関大連の魅力だなと思います。ほーむ
活動の垣根を超えて同期や先輩後輩ラボっ子と繋がれる貴重な場。ラボの魅力、人間
力を深めることが出来る場!みるく

関当時は、関大連もできたての組織だったので、活動範囲や種類を自分たちで選択す
ることがある程度許されていました。既存支部イベントの実施、新イベントの立案、
勉強会など、やりたいことを提案できる良い場だったと思います。また、同世代の仲
間とのつながりを持てる素敵な場でした。じゅんぴい

自由に何にでも挑戦できること。関西支部の大学生年代という大きな括りなので、こ
こでしか一緒に活動できない仲間にも出会えること。あゆみん

普段活動を共にしていないラボっ子とも関大連だから会えた!交流を深めれた!振り返れば、関大連が
あったからこそラボ生活がより豊かに、深いものになりました!なっちゃん

何よりも「経験豊富なラボっ子が集う場であること」ではないでしょうか。私にとって関大連合は、
関西をより活発で魅力ある支部にすることを目標に、長年のラボ活動で培った経験や知恵を出し合える
刺激的な場でした。ひーろ

ラボ活動においても、その他生活においても自身を深めて広げるきっかけをくれるところ。多種多様な
同年代が集う場そのものが魅力!(社会に出るとそういった環境は自分から探さないと出会えないので。)
みーや

学業、アルバイト、それぞれのラボ活動などみんな色んな選択肢がある中で、せっかくの貴重な時間を
無駄にしないよう、心掛けた結果、沢山のひとと繋がれた。そこが関大連の魅力だったのかなと思う。

ジェニファー

ラボっ子はどんな状況でも楽しむ術を持つてると 思うか ら、あと少ししかないラボっ子生活を楽しんでほしい! まどんな やっぱり続けてると年々違う楽しさがある!大学生のラボ楽しかったな～ あかね

世の中がいつもと違う状況だからこそいつもできることはなんなのか、できないと言われたことをどうできる様にするのかを考えやすくなると思います。 ラボを是非楽しんでください。さつき

まずは気軽に行的ってみてください!まい

コロナで大変だと思うけど、新しい形で素敵な活動をみつけれるとイイネ、頑張れ! ほのか

君らは憧れた。そんな憧れがみつともない姿を見せないこと。それだけを望みます。じげん

行かず嫌いはよくないよ! とりあえず行的ってみて、話してみれば、絶対行的ってよかったなって思えるから!!なんしょー

月1の憩いの場をこれからも。こくとー

あなたは人と関わる事は好きですか?嫌いですか?多分、両方あるでしょう。その気持ちを両方共、大切にしてください。らくちゃん

関大連を楽しくするもつまらなくするも自分次第!きき ○○所属の目線で考えをぶつけるのももちろん大切だけど、自分の個性だったり軸に沿った考えを発信するのも大切だと思います。その人個人の魅力に気づいてくれる人はきつというし、そうしてできた友は社会に出ても心の通じ合う友となりました。のこのこ

関大練の活動の意味はみんなでつくるもの!どんな活動をしたい?どんなことをするなら参加したい?そんな一人一人のアイデアを何でも生かせるのが関大練! みんなが楽しめる活動になるといいなあ～ なつき

One closed door leads to another that is open.ほーむ

All grown-ups were once children... but only few of them remember it.かずま

「FOR SOMEONE. ～これまで私を成長させてくれたラボに、出来ることは何だろう?～」これを常に問いかけながら、私はラボをしていました。短くて後1年、長くて後4年。少しずつ終わりが見えてきたラボ活動だからこそ、後悔が残らないように、全力で向き合い、楽しんでください! みんなの素敵な背中に魅せられて、続いてくれる人は絶対にいるはず。応援しています!! みるく

今しか出来ないことが、多いからとにかく全力で、真剣に真面目に弾けましょう。えびちゃん

人との出会いを大切にするラボという組織にとって、今は本当に大変な時期だと思います。ただ、もしこの大変な時期に何かおもしろいことをやりだすのは誰だろう?と考えた時、それは事務局の方より、テューター方より、大学生なんじゃないかなと、個人的には思うんです。ミスすることが許される、ある程度自由や無茶が許される、そんな皆さんだからこそ、自分のために、そして今までお世話になったラボや次世代のラボっ子のためにできることがあるんじゃないかな、と。皆さんが考えることに正面から立ちはだかって応援してくださる大人たちもいるし、「おもしろい!」と笑顔になってくれるラボっ子たちもいる!もっと自由に、小鳥のように!じゅんぴい

大学生まで続けたからこそ、わかるラボの魅力があると思います。それを下の世代に生の声で伝えていけるのは、現役ラボっ子の今だからこそ!心から楽しんでいる背中を見せることで、下の世代が「大学生までラボ続けたい」と思えるように、ずっと繋いでいってほしいなと思います。あゆみん

今、なんとなくラボをしたり大学の活動をしているなら一度何かにのめり込むまでやってみて欲しい。それがラボに限らず、自分のしたいことであればそれでいいと思う。でも特にやりたいこともなく大学の4年間でなんとなく過ごすなら、何かに本気で打ち込んでやってみて欲しい。もし、見つからないならいろんなことに挑戦できる場が用意された、みんなが慣れ親しんだパーティにラボに本気になってやってみると新しい景色が見えるかなと思います。大学生になってラボの魅力に気付けたけんけんより。

今は大変な時期かもしれないけど、関西をもっと盛り上げていけるのはみんなはる コロナでラボの活動自体大変かと思いますが、応援してますので頑張ってください。えま

大人になるほど一歩踏み出したり、新しい事に挑戦するのはとても勇気がいること。ラボから離れて10年経つ今でも大学生活動の思い出や出会いが自分の原動力になっています。だからこそみんなにも一歩踏み出して沢山のひとと出会って色々な経験をしてほしいです!10年後の自分のためにも…。みなこ

世代を越えても想いを伝えることができるのは人との「繋がり」を大切にしているラボならではの魅力だと感じます。様々な「出会い」であふれているラボにはたくさん刺激を受けてきました。社会人になるとなかなか刺激を受ける機会が少なくなり、考えが凝り固まってしまう。まだまだ柔軟な発想ができる今だからこそ、豊かな想像力で次の世代に自分たちの想いを紡いでほしいと思います。はいじ

集まることがどれだけ貴重だったかっていうことを再確認できた一年だったと思うので、当たり前を大切に大事にしてください。社会人になると自由はほとんどないと思って、今できることってなんだろう、大学生ラボっ子として自分はどんな歴史を残したいか考えてみてね。りりー

ラボってすごい!ラボ活動をしている自分はどの瞬間もキラキラしていたように思います。たくさんのお出会いが詰まったラボやっててよかった、卒業してもそう思います。みなさんもいつかそう思えるように、限られた時間を大切に、やりたいこと自ら挑戦してってください!なっちゃん

活動してたのはもう10年も前なのに、振り返ると様々な事を思い出します。それほど濃い時間を過ごしたんだなと実感しています。ラボ活動で成長したみなさんはそれだけで相当魅力的な存在ですが、それが一同に集う関大連合が持つパワーは無限に広がる物だと信じてやみません。人と出会い繋がることの大切さ、愛おしさを身に染みて感じたこの1年ですが、関大連合がこれからもみなさんの多様な価値観を発信し吸収できる場所であってほしいと願っています。学生生活は泣いても笑っても4年間しかありません。迷ったときは、“It's now or never”、こんな経験が出来るのは今しかありませんよ? ひーろ

今の大学生年代は、私が大学生の時に中高生リーダーとして出会ったラボっ子達。当時の輝きをより一層輝かせて、残り少ないラボ人生を自分達の手でどんどん切り開いてってください!どんな経験も思う存分楽しんで~!!!みーや

色々と制限されてしまっているようにできないことも多いと思いますが、最後まで楽しいラボ生活を!きょうこ

関大連によって、いっぱい友達ができたり、企画を通して色々な学びがあるのでぜひ積極的に参加して下さい!!りゅう

パーティーだけ、大学生活動内だけじゃもったいない! いろんな大学生ラボっ子と関わろう! あんな大学生として何ができるかなど「今」について考える機会が多いかと思いますが、社会人になったら何をしたいかなど将来について話してみてもおもしろいかもしれません。社会人とは言わずおじいさんおばあさんになった時のことなど、各自の妄想(突飛なファンタジーもよしとする)を練ってきて語り合うのはいかがでしょうか! こんな家具の家に住みたいとか思い切って派手な服着るぞとか画像も持ち寄って。みや

コロナ禍で私たちがやっていた当時の活動とは全く異なっていると思います。私自身この時代に大学生だったら、どうしていただろうかと検討もつきません。ただ、私たちの時と異なり、オンラインですぐ繋がる時代になっています。こういう時こそ、パーティ、地区、支部を越えて、知恵を絞り、高め合う時だと思います。大学生の皆さんならできることを多いはずです。今しかできないことを心から楽しんだら、もっと広がる景色があると思いますよ。ジェニファー

全てはラボっ子のために。そして何より自分自身のために。魅力溢れる大学生ラボっ子として頑張ってください!とっと







関西大学生連合

2006年スタート。かつて行われていた関西支部中高大生合宿の企画運営の中心活動として展開し、その後2007年、2013年、2017年の3度に渡り全国規模の「わかもの」を主催した。現在は旧STP（シニアメイトトレーニングプログラム）であるLTP（リーダートレーニングプログラム）の企画、参加者の持ち寄り企画を中心に活動。過去2年間は「大学生の大学生による大学生のための時間」を中心に、関西支部の大学生交流の深化に取り組んだ。

最後に

かつてラボっ子だった多くの者達へ

今を生きる多くのラボっ子達へ

そして、いつかここにやってくる今はまだ小さき君達へ

僕らは、なぜこんなにも夢中になるのだろうか

そこに価値があるからではない

価値ある僕たちが共に時間を費やし

価値あるものを生み出すから

もっと楽しく、もっと面白く、もっと魅力的に

関大連がそんな場所であり続けてほしい

そんな願いと2年間の感謝をここに

北陵京滋地区 上岡P 大3 本常瑞己(みず)

関大連って何でできる？

これまでの軌跡とこれからの旅路

2020年3月20日発行

総編集/デザイン/インタビュー企画

本常瑞己(もつつね・みずき)

インタビュー企画/その他

坂本夏輝(さかもと・なつき)

デザイン

藤川大輔 (ふじかわ・だいすけ)

OBOG企画

上田桜(うえだ・さくら)

大学生の学部総集編企画

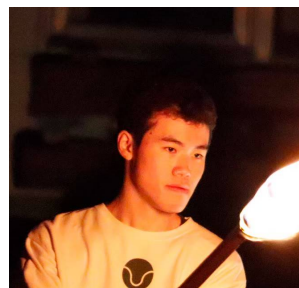
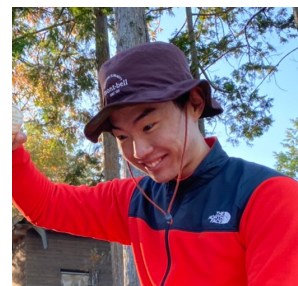
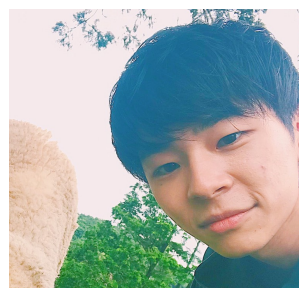
杉山美晴(すぎやま・みはる)

みんなのモットーと経験の企画

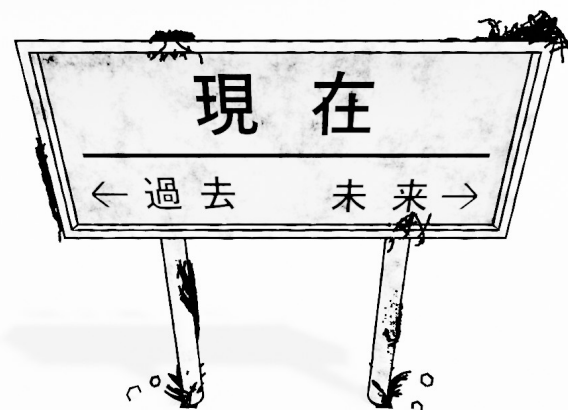
土橋桜(どばし・さくら)

関大連魅力まとめと4期インタビュー企画

有田彩綾 (ありた・さあや)



関大連ッッ



何々々き々々?